平成２１年度宮城県学生バドミントン選手権大会

大藤　琢矢

平成２１年９月２１日（月）～２３日（水）にかけて宮城県学生バドミントン選手権大会が東北文化学園大学にて行われました。なお初日の混合ダブルスは東北大学からの出場はありませんでした。

２２日はダブルスが行われました。ほとんどのペアが初戦で強豪校とあたってしまい、勝ち星をあげたのは菅野・武田ペア(敬称略)だけでした。

菅野・武田ペアは３回戦で学院の岩淵・鈴木(琢)ペアと対戦しました。１セット目は 18 - 21 で取られてしまいました。２セット目はデュースまでいきマッチポイントを何度か握ったものの決めきることができず 22 - 24 で取られ、負けてしまいました。ここで東北大学のダブルスの試合はすべて終わってしまいました。

次はシングルスです。ここでもほとんどの人が初戦で強豪校と当たり負けてしまいました。３回戦まで残ったのが、山口先輩と砂川と自分でした。

山口先輩の３回戦。ここまで山口先輩は２回戦で後輩である宮教の鈴木(峻)に勝利し３回戦に進出しました。３回戦では福祉大の安藤さんと対戦しました。しかし、山口先輩の丁寧で堅実なバドミントンも安藤さんの前では通用せず、結果は 10 - 21 , 6 - 21 で負けてしまいました。

砂川の３回戦。砂川は福祉大の小野に棄権勝ち、学院の秋山さんに勝利し、棄権もありますがなんとＩ部校に２連勝してここまできました。３回戦では仙台大の川瀬と対戦し、砂川はここまでの勢いそのままに１セット目を 21 - 17 でとりました。２セット目も 18 - 13 くらいになり、ギャラリーも砂川の

勝利を確信しました。しかし、砂川の勢いもここまでででした。まさかの連続失点により、そのまま 18 - 21 で取られ、3セット目でも失った勢いを取り戻すことができず 11 - 21 で取られ負けてしまいました。

自分は準決勝まで進出し3位でした。自分がここまでいけたのは、福祉大の今野の棄権とトーナメントの良さのおかげだったと思います。

準々決勝では学院の鈴木(琢)と対戦しました。この試合は相手が格上だったものの鈴木は前の試合でバテバテだったので、なんか申し訳ない気持ちになりつつも勝利しました。

準決勝では学院の佐藤(尚)と対戦しました。結果は 17 - 21 , 14 - 21 で負けてしまいました。自分なり思っていたよりもいい試合ができ、満足していましたが、決勝の試合を見て自分との試合では実力の8割も出してなかったということがわかり、トップの人達との実力差を思い知らされました。

県学生では出場校が東北大学のほかではⅠ部校ばかりなので結果を出すことが難しいですが、レベルの高い人達と試合ができ、多くのことを学べるいい機会だと思います。それを今後に生かし強くなれるように頑張りましょう。

自分中心でつたない文章となってしまいましたが、これで宮城県学生バドミントン選手権大会の戦記を終わります。